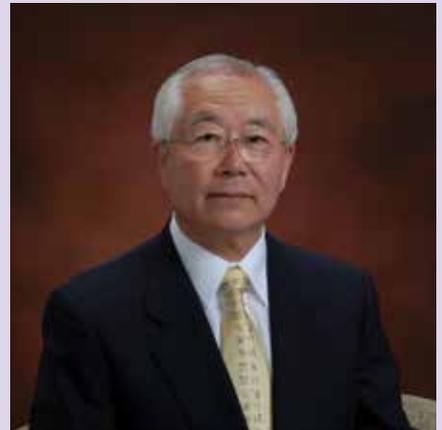


宮城県気仙沼市

## B to BからB to Cへビジネスモデル転換 地域資源を活用し震災復興に貢献

宮城県気仙沼市に本拠を置き、昭和17年の創業以来、船舶石油販売業をはじめ、廻船問屋業、漁業、石油・ガス販売業、水産加工業と事業を展開している。震災により国内の全ての工場やオフィスを失ったが、中国工場を起点に震災から数日で事業を再開。2017年3月、南気仙沼工場を再建・稼働し、積極的な事業展開を行っている。

●所在地	宮城県気仙沼市川口町1-100	●設立	1942年
●電話/FAX	0226-23-1721/0226-23-5371	●資本金	1,200万円
●URL	<a href="http://kanimonogatari.jp/">http://kanimonogatari.jp/</a>	●従業員数	120名
●代表者	代表取締役社長 佐藤 亮輔		



### 震災後、B to BからB to Cへビジネスモデルを転換

主軸事業のカニ・エビを中心とした水産加工食品事業において、震災前の企業間取引から消費者との直販にビジネスモデルを転換し、新しい市場開拓に挑戦。その柱となるのが、南大西洋沖で漁獲され、被災地気仙沼の地域資源認定でもある「まるずわいがに」。船上でボイルして瞬間凍結し、自社の工場に持ち込んでむき身加工している。漁獲から製造、販売まで行う一貫通貫型加工は同社しかない。このまるずわいがにを活用してこれまでのBtoBからBtoCモデルへ脱却を図るため、新ブランドの「かに物語」を立ちあげる。新しい分野のスープや惣菜加工にも力を入れ販路開拓に尽力し、震災復興を牽引している。



幻の蟹：「まるずわいがに」

### 日系ブランドを武器に中国国内での販売拡大

従来、中国国内での販売に関する収益管理の仕組みがなかったが、事業損益の見える化を図りPDCAがまわる仕組みを作ることに成功。また、海外子会社との情報共有の機会を増やし、相互理解を深めることで、収益改善をはかる体制を作った。その結果、成長市場である中国において、日系ブランドとしての高い評価を得て、中国国内での売上高を順調に伸ばしている。



同社所有の中国工場

### HACCP取得による安心・安全な商品提供の確立

同社は、2017年の新工場の稼働開始に伴い、2019年12月にHACCPを取得。その高い管理体制によるクリーンな工場運営はもちろんながら、トレーサビリティに対する社会的なニーズの高まりに応えるため常に安心・安全な商品提供を心掛けている。また、「美味しい」をテーマとしてこだわりの商品をお届けするために、社是の「和心 誠心」を商品に込め、お客様に喜んでいただける提案をしている。従業員の能力向上にも積極的に取り組んでおり、製造工程管理、法令順守に基づく表示管理、各種検査の実施の他、全社員に食品安全に関わる教育訓練を実施している。



徹底管理によるクリーンな工場